

業況レポート

製造業

- ◇パン…新学期が始まり、組合員一同クレームがないように注意して作業している。業界としては、少子化による児童数の減少に頭を痛めている。また、衛生面に係る諸費用が年々増加し、対策を考えていかなければならない。学校給食でパンが出される回数が増えればと考えている。（現在は米3、パン1、麺1の割合）
- ◇酒…当県の課税移出数量は、2月が101.7%と前年同月を上回ったが、3月は前年同月が消費税増税前の駆け込み需要で大きく伸びたこともあり、対前年比で大幅な減少となった。特定名称酒も93.3%と前年同月比を下回った。しかし、平成26年度における特定名称酒は102.4%と増加している。焼酎については、前年同月比74.0%と落ち込んだ。清酒輸出に関しては、依然として順調な伸びを示している。平成27年度の原料米調達については、安定的に推移するものと考えられる。価格については、引き続き安定的な供給体制を構築する観点から、酒造好適米については、需給と価格安定の観点から、複数年契約方式等を順次導入し、原料米価格を抑える努力が必要と考えている。

当組合の平成26年度需要開発事業として、蔵元情報誌「茨城の地酒と蔵元」を3月31日付で発刊し、主要団体・関連機関へ広報活動のツールとして送付した。非売品であるため一般消費者からの問い合わせが多い。4月18日に、県産酒による「新酒を啗く会」を京成ホテルで開催した。予定を上回る400名の来場者を迎え盛会であった。
- ◇納豆…中小メーカーには厳しい状況が続いている。ただし、差別化商品の開発や販路開拓に成功しているメーカーは、厳しい中でも頑張っている。
- ◇菓子…月の前半は悪天候が続き、売上は減少傾向だった。20日以降は天候に恵まれ、売上が増加した。4月全体の売上は対前年同月比微増、収益は悪化。
- ◇繊維製品（縫製）…GW前までの受注で、各社とも仕事はあったが、例年通り後半から多少失速気味。5月の生産が心配。
- ◇木材…製品価格の下落、荷動きの悪さに加えて、市場の先行きの不透明さがある。必要当用買いの姿勢である。
- ◇プレカット…まったく先がわからない。見積みも少ないながらも出てきているが、なかなか決まらない。木材価格は値下げ圧力がある。加工件数は前年同月比70%程度。
- ◇段ボール…前年同月比で10%近く売り上げが落

ち込むところがあり、景気の勢いを感じられない。仕入れ価格が徐々に値上がりしてきているため、収益に影響が出始めている。厳しい状態が続く。

- ◇総合印刷…雇用人員の減少傾向が続いている。
- ◇焼物…春の行楽シーズンを迎え、笠間にとって最も活気のある時期に陶炎祭が開催された。初日からたくさんの方が訪れ、大混雑だった。
- ◇鍍金…受注自体は前年と同程度であり、収益についても大きな落ち込みはなかった。原材料価格も前年度並。灯油・ガソリンなどの価格が昨年より下がっているが、電力の価格が上がって負担になっている。業界全体の景況も前年度並。電気の使用量が多い業界なので、電気代の値上がりに注目している。このまま値上がりが続くと収益に影響が出てくる。
- ◇電化機器…当月の生産高は対前年同月比で△33百万円（△4.4%）の722百万円。自動車関連事業所、特に電子部門での生産高は堅調に推移し、対前年同月比2.2%増加。一方で家電関連事業所では△26.9%と低調なスタートだった。
- ◇自動車部品…生産高はやや改善傾向にあるが、未だ水面下の動きにとどまっている。
- ◇工業団地（農機部品）…対象7組合員の売り上げ状況は、6社が増加、1社が減少（対前年同月比）。全体の増減率は116%の増加。主得意先の上期増産計画に対応するため、生産が増加。過去数年間の4月と比較すると最高の売上を記録した。一方で、人員の確保は進まず従業員数は前年並み。休日出勤や時間外勤務の増加で対応している。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷数は対前月比で25%減。対前年同月比では2%減とほぼ横ばい。年度変わりによる工事の減少が影響したのと考えられる。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比+8.27%。量販店の売上高は伸びてきているが、一般買受人の売上は減少傾向。
- ◇食品卸売…野菜に関しては、対前年同月比で数量減、単価高で推移。4月に入ってから気温低下や曇雨天による生育の遅れ、品薄が影響した。5月以降は、キャベツや白菜が茨城県産に切り替わるため、4月と比べて数量が増え、単価が下がってくる見込み。果物に関しては、対前年同月比で数量は横ばい、単価高で推移。柑橘類や輸入果実など果実全体で高値となった。メロンなどの夏果実に切り替わり、数量が増えてくれば単価も落ち着く見込み。

- ◇**県北地区共同店舗**…消費税増税から1年が経過したが、売上高は依然として厳しい状況。孤城落日の感がある。
- ◇**県央地区共同店舗**…飲食サービス業以外は昨年と同程度の売上を確保できたが、厳しい状況に変わりない。プレミアム商品券の販売が7月に決まったので、それに合わせて販促計画を練っている。
- ◇**県南地区共同店舗**…天候不順の影響か、衣料品が大苦戦。近隣の大型店の周年祭の影響もある。
- ◇**家電**…学生又は新社会人の需要が高まる時期だが、今年はその動きが乏しい。仕切り直しをして、戸別訪問、工事を伴う商品需要見込み客づくりなど、量販店にできない戦略を選択している。身の丈にあったものを各店に選択いただき、売り上げ拡大を図れるようお願いをしている。
- ◇**中古自動車**…昨年度より出品台数が減少（△1.0%）。しかしながら、良質の中古車が出品され、成約率が大幅にアップしている。オークションが祝日になったのも出品台数減の原因である。
- ◇**石油**…原油価格が50ドル台で推移し、前年同月の100ドル台から半値に下落したが、円安の進行によりガソリンの販売価格は25円の下落にとどまっている。低燃費車の普及により、需要が減少してきているため、依然として組合員の仕入れ価格を下回るような安値販売競争が続いている。経営環境は厳しい。
- ◇**商店街（下妻）**…消費税の引き上げ分を販売価格に転嫁できず、収益状況が悪化している。相変わらず個人消費は低迷している。
- ◇**ホテル旅館**…臨海エリアでは、あんこうシーズンが終了した後も各所のイベントやひたち海浜公園のネモフィラによる集客が思いのほか多く、メディアによる影響力の大きさを強く感じた。それと相まって、震災以降の努力が目に見える形となってきているように感じる。県北臨海エリアでは、宿泊客の伸びが良くない状況。県西、県南、鹿行エリアは、ビジネス客、公共工事従事者や合

宿等が少しずつ増加傾向にある。

- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車輛入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車115.3%、軽自動車120.6%と増大した。
- ◇**総合建設**…新年度が始まったが、公共工事の発注は非常に少ない。昨年度は繰越工事等があったが、今年度は少ない。そのため、数少ない発注工事入札はダンピング受注がほとんど。非常に厳しい状況。
- ◇**県北地区運輸**…顧客動向については、年度末から全体的に発送物量が低調。燃料価格が値上がり傾向で収益は苦しい状況が続いている。
- ◇**県央地区運輸**…平年に比べ、全体的に動きが悪いように感じる。月の中ごろから暖かい日が続き、飲料水関係は荷動きが見られる。農機具（部品）の輸出、ガーデニング用品、加工品も一時的に動きはあるが、収益の改善にはつなげていない。

H27.4月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況		
		前年同月比		前年同月比		
食料品業		▲	16.7		▲	33.3
その他業		▲	15.0		▲	20.0
卸売業			25.0		▲	75.0
小売業 (商店街を含む)			0.0		▲	36.4
サービス業			50.0			50.0
建設業		▲	20.0		▲	20.0
運輸業		▲	50.0		▲	50.0
全体		▲	8.0		▲	28.0

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の業況項目について、「増加」（又は「好転」）業種割合から「減少」（又は「悪化」）業種割合を差し引いた値（D.値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.1値

成長分野の「介護事業」参入は、今がチャンス!

9兆円から21兆円市場へ

不動産業、建設業、サービス業、
製造業、運輸業、小売業など、
幅広い業種が参入しています!

詳細

中小企業様の支援実績は、
県内トップクラスの
500社以上!!!
お気軽にお問い合わせ下さい



介護施設のフランチャイズ加盟で「経営革新」

- ・小規模介護施設の為、設備投資が少なくOK!
- ・利益率が高いため、黒字転換まで6ヶ月でOK!
- ・計画、申請から開業、黒字転換までをサポート!
- ・営業面、運営面、職員教育を強力バックアップ!

株式会社 マネジメントセンター
〒310-0836 水戸市元吉田町1041-4 サン・ビルディング4F
TEL029-246-4671 FAX029-246-4672
URL <http://www.isommc.com>
E-mail info@isommc.com